

あとがき

起きるべくして起こった米国のサブプライムローン問題に端を発し、昨年後半になって世界中を巻き込んだ経済危機の大波に翻弄されるビジネス機器関連業界にあって、本技術調査報告書の発行によって今年度の活動をまとめることが出来たのも、皆様のご理解とご協力のおかげとまずは感謝申し上げます。

2008年の報告書についても基本構成は昨年までのものを踏襲しましたが、今回はソフト的な視点から、環境対応・セキュリティ・市場の三動向を追加しました。関連ビジネスがハード視点からソフト視点に移行しつつある状況を反映したものです。講演会・現地調査活動、インクジェット及び電子写真の技術動向調査、注目技術の解説については、過去の報告書と読み比べることで業界の動向が見えるように、継続性を維持した構成としています。

世界的な環境意識の高まりを意識して、今年度の現地調査では循環型社会を目指す企業団地である「北九州エコタウン」を第1回として訪問しました。あらゆる産業において3Rや5Rを抜きにビジネスが成り立たなくなる時代に、製品のライフサイクルを螺旋状につなぐこのような施設の充実なくしてビジネス機器業界の健全な発展は見込めません。また第2回として訪問した、高出力ボリューム市場を狙ったコピー業界の狙いが明確に出ている「品川 POD ショールーム群」は、出力機器ビジネスの今後を占うものとして興味深いものとなりました。調査報告が皆様の参考になれば幸いです。

今まで7年以上に亘り、技術調査小委員会は前年の活動を踏まえた調査を進めてきましたが、今後の活動について委員間で意見交換する中で、やはり業界団体であるからこそ出来る活動に我々の存在価値があるとの共通認識に立ち、新たなチャレンジを志向しようと言う機運が高まってきました。皆様からの提案や紹介や参加により、想いを形にする場の提供を従来にも増して進めますので、積極的に活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、本報告書の発行に際し、講演いただいた講師の皆様、現地調査で説明いただいた皆様、注目技術を執筆いただいた皆様、協力頂いた会員各社、委員、並びに事務局の方々に深謝いたします。

2009年3月

技術委員会 技術調査小委員会
編集担当 大平 忠

禁 無 断 転 載

2008 年度「ビジネス機器関連技術調査報告書」“あとがき”部

発行 2009 年 3 月

社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA)

技術委員会 技術調査小委員会

〒105-0003 東京都港区西新橋三丁目 25 番 33 号 NP 御成門ビル

電話 03-5472-1101(代表) / FAX 03-5472-2511